

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー



SAGA2024 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会

体育からスポーツへ 前例のない新しい大会とこれから

東島 敏隆 講師(県スポーツ協会元理事長・当センター運営委員)

11月16日
ろう者向け日曜教室

48年ぶりの佐賀大会。若楠国体にバスケットボール教員の部に出場、その後も国体と長く関わられた東島敏隆講師に振り返ってもらった。

「体育」から「スポーツ」へ

もともと「体育」の語源はフィジカルエデュケーションで、健康増進・運動能力の向上を目指すもので

体育やクラブ活動教育は日本独特、特にヨーロッパには無い。授業としての体育やクラブ活動は教育的意義が重視されている一方、スポーツは元々ラテン語のデポラターレ(日常から離れた遊びの時空間)で、自由な遊び、自主性・自発性が基本になっています。

国体の第1回は昭和21年、佐賀県では昭和51(1976)年「若楠国体」があった。当時、バスケット教員の部の選手として出場した。

開催地は10年前に内々定、5年前に内定、3年前に決定する段取りで、鹿児島はコロナのため佐賀大会年に延期、佐賀が1年遅らせ名称も「国民スポーツ大会」へ変わり新しい第1回大会となった経緯があります。

SAGA2024 大会の新しい試み ～する・観る・支える～

国体は関係者・する人のみの大会から、県民全員が主役の大会へ変わり「すべての人にスポーツの力を」がスローガンとされた。

●する→ベストプレイヤー表彰、佐賀牛や物産、肥前ビードロを埋め込んだメダルなど。

●観る→ナイトゲームや動画配信、応援は面白いみんなで楽しめる大会。

●支える→ボランティア、アスリートレシピの紹介、伴走者へのメダル授与。

今後への展望

- ・今大会では過去最多のメダルを獲得。
- ・スポーツは「する人」「観る人」「支える人」すべての人に何かしらの感動を与える。
- ・佐賀県では、世界に挑戦するアスリートを育成するSSP構想に取り組んでいます。今大会はその通過点。
- ・今後、自分の興味・関心・能力・体力等に応じて、生活の中にスポーツを取り入れて、スポーツの持つ価値を共有してほしい。

～～ 国スポ・全障スポの競技や結果は裏面に掲載 ～～



役に立つ 新シリーズ[29]

第29回は補聴器と集音器について。



補聴器と集音器、どう違う？

「補聴器と集音器の違いについて知りたい」というお問い合わせをよくいただきます。集音器は通信販売やテレビ広告で見かけることが多い製品で、一般的な家電製品として家電店やオンライン・ショップで手軽に購入できます。場合によっては雑誌の付録として手に入ることもあります。集音器は価格が安く入手しやすいですが、個々の聞こえの状態に合わせて調整することができません。必要のない音も大きくしてしまうため、例えば落雷のような大きな騒音も増幅され、耳にとって逆に害になることがあります。

自動で必要な音を調整。

補聴器は医療機器として扱われており、安全性に関する規定が厳格です。そのため、価格は比較的高額になります。また、販売方法や広告にも制限があり、一般の方にはその本質を理解しにくいことがあります。補聴器の大きな特徴は、使用者の聞こえにくい音域を強調し、不要な部分を低減するように自動で調整を行う点です。例えるなら、でこぼこ道を整地して通りやすくするイメージです。ボンボンと小さい声で話す人の声を増幅し、大声で話す人の声は自動的に音量を抑えることができます。このように、補聴器は個々の聞こえに合わせて調整できるため、違いを理解し、正しい選択をすることが大切です。また、補聴器は非課税であるため、消費税はかかりません。

第2回運営委員会開催 11/6

4月から10月までの事業の執行状況について、特に10月の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の情報保障サポーターの活躍について担当者から報告した。質疑や意見*情報保障サポーターを登録通訳者等へつなげてほしい*補聴器の耐用年数は5年程度である。更新時に助成制度があれば助かる*軽度難聴者への市町における助成制度の導入「80-30」耳鼻咽喉科学会の取組*警察において聴覚障害への理解を深める取組を行っている、などがあつた。

要予約

巡回 聴こえの相談

- 伊万里市 市役所本庁1階 面接室
1月28日(火)10:00~15:00
- 江北町 町役場1階 相談室(大)
2月25日(火)10:00~15:00

編集後記：国スポ・全障スポ、お疲れさまでした。kiyo

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

佐賀県選手の活躍



国スポ～天皇杯2位 2,322点

1位:	22競技 45種別
2位:	29種別
3位:	21種別
4位:	11種別
5位:	24種別
6位:	10種別



<団体1位の競技>

- ・バレーボール(成年女子) ・ラグビー(成年男子)
- ・新体操(少年男子、少年女子) ・自転車(男子A)
- ・フェンシング(成年女子) ・弓道(少年女子)
- ・剣道(少年男子、成年女子) ・柔道(成年男子)
- ・空手道(成年少年男女共通) ・卓球(成年男子)
- ・クライミング(少年男子、成年男子)
- ・なぎなた(少年女子、成年女子)



全障スポ～実施競技とメダル数～

個人競技:7競技

- ・陸上(競走、跳躍、投てき) ・水泳 ・ボウリング
- ・アーチェリー ・卓球 ・フライングディスク ・ボッチャ

団体競技:6競技

- ・車いすバスケットボール ・バスケットボール
- ・グラウンドソフトボール ・フットソフトボール
- ・バレーボール(聴覚、知的、精神) ・サッカー

<メダル数> 個人131個、団体2個 過去最高!

佐賀インターナショナルバルーンフェスタ中止

～11月観測史上最大の雨量、約80cm冠水～

10/31に、「2日(土)大雨により河川敷が冠水する」予報、初めてイベント中止の判断が出されました。それに伴い、当センターのバルーン写真コンテストも審査中止・応募作品は来年のコンテストで2024年部門として扱うことといたしました。

11/2は夜中から雨、1時間に57.5mmと11月観測史上最大の雨が降りました。その後、天気は回復しましたが11/3は強風のため競技中止。11/4最終日の午前ようやく競技を実施することができました。河川敷の使用はできなかったの、離着陸はいずれも河川敷の外。どんな写真が集まったかは、来年までのお楽しみ★

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日